

之れより先き、東京組工、東京電気機械組工兩組合より平澤氏運動の動議を提出せられたり、加し東京及び愛知より、以上三組合より平澤氏運動の動議

從つて城東聯合會を正式に解散せり。
在問委員官進行中、平澤氏は遂に自己の意なりとして、友愛會を脱會せり。

大會は鶴戸支部の動議を絶体多数によつて可決せり。
大方針とし、それ等の結果は労働運動上に及ぶる悪影響を齎すものなるが故なり。

平澤氏の在問委員官開議並に在問運動委員官提出より。

附言

友愛會城東支部

▲以上、既に分離する上は、當然城東聯合會の從來の會計は勿論、其の他一切の事務の始末を處理すべき筈の平澤氏が、何等の弊に出でざるのみならず、昨年五月大島製鋼、即ち城東支部の同盟罷工の結果、金七十圓の基金を生じ、種々問題の起りし金なれども、結局右金七十圓は、今後の同盟罷工基金として、積立つる事、同盟罷工以外には絶対に使用し能はざること、又同盟罷工に使用する場合も、さきに城東支部の同意を得ざれば、使用すること能はざる名目のもとに、積立つる金を、何ぞ城東支部の承諾を得ず、消費し、而も右基金の内五十圓は私用に消ばすならん事を、友愛會を分離せしに付、責任を明にする爲め、同盟罷工並に在問委員官開議に行き及ぶの結果は右の名目のもとに積立つる、見舞ひも、又責任を成すれども、無き全は出せざるの弊言に問題にならず、此をも得ず此の事實を公開して、公人として平澤計七氏の行動を、社會一般の批判に待つ以所である。

任なりと、吾人は信するものなり。

▲平澤氏が此の友愛會より分離せし直接の理由は、氏個人が友愛會副東大會に於て、彈劾されし事實を、城東聯合會の一般の幹部には、城東聯合會會本部が彈劾されし如き言辭を弄し、自己一人の設備の上より聯合會を友愛會より分離せし行動の如きは、聯合會長として最も重要な地位にあるもの、取り得ざる行為にして、兎職に類する行動と言はざるべからず、假りに一步を譲りて友愛會より分離する氣分が、多数を制し居りしとしても、何等理由なく、殊に自身が彈劾せられて直に分離する如きは、常識ある人の行為と認むる能はず、若し自身が彈劾せらるる、理由なきときは、堂々の論議を張り、彈劾者と争ひ、その解決を得、又城東聯合會々員に向つては、從令自身が彈劾せらるることも、城東聯合會としては、何等友愛會と分離する理由なきことを、極力主張して、己れを公平無私の態度に出ること公人としての道、及責任なりと、吾人は信するものなり。

▲此の平澤計七氏の行為に對し一般社會の批判を仰ぐ理由は、氏が友愛會城東聯合會長とし、且つ東洋新聞記者とし、社會の公人としての行為なればその及ぼす度は社會的、又我等労働者に影響する處大なればなり。
又氏が公人としての行動の結果は、平澤氏一個人に歸するものに非ず、我等人類の最大幸福を理想とする労働運動に甚大の影響あるものなれば、是に従來の構構を一切打捨て、今までの平澤氏の行為を公開して社會一般の御批判を希望する次第であります。

公人平澤氏の行為に對し社會の批判を乞ふ

大島製鋼新同盟兼労働問題演說會
罷工結果報告同盟

拜 早

邦國多岐の英雄を御健勝の後、國家の爲め慶賀奉り候、
陳者當友愛會城東支部の會員中、今回大島製鋼所の罷工
解決を反訂し、同盟罷工を行ふ、又労働者入會も開催し
し言を騒せせば、吾人の本意を、さるるも、亦誰能
ざるを得ず、廣く社會におもつて、労働者の次第にて候。

やび、も社會の同僚は罷工者に集り、會社又罷工者の眞
實を、其の事實を容れて、問題に解決はし、午前、午、御
安心下され度く候、就ては其結果の報告も有り度く、吾
人が會社に對する敬意及び労働問題に對する決心も公表
せられたり、愛國の一端も吐露し度く候、茲に同盟罷
工の結果報告を兼ねて、労働問題の演說會を開催する次

第にて候、申す返も無く、労働問題は今後の國運を賭す
るの大問題にて候へば、労働者は申すに及ばず、政府も
資本家も智識階級も、國民擧つて愛と正義を以て、之れ
が解決に當らざる可からざるを思ふ者にて候、御多忙中
恐縮ながら、御來駕の榮を得たく、先づは同盟罷工者に
對する御同情を感謝爲すと同時に、演說會の御案内斯の

如くに御座候

■ 日 五月十四日午後七時より
■ 場 所 鶴戸町十三間通女子部小學校

▲ 入場料其他總て無料

主 催 友愛會城東支部

